

本報告書は、2026年5月27日付で技術諮問委員会より提出された報告書に対して、NRRC所長より出した返信レターを参考までに原子力リスク研究センターにて仮訳したものです。
正式な報告書は、英文版の原文のみとなりますのでご注意ください。

原子力リスク研究センター
一般財団法人 電力中央研究所
〒100-8126 東京都千代田区大手町 1-6-1

ジョージ・アポストラキス博士
原子力リスク研究センター所長

2026年6月15日

ジョン・W・ステットカー氏
技術諮問委員会 委員長

件名：技術諮問委員会 2026年5月27日付レター報告書「マルチユニット PRA の手法」

ステットカー委員長

複数の原子炉を有する発電所（サイト）におけるサイト全体のリスクを評価するための提案手法の現状のレビューについて技術諮問委員会（TAC）と議論させていただき感謝申し上げます。

NRRC は TAC の提言について、以下の通り回答する。

1. 全てのハザードに対応した評価フレームワークについて

NRRC は、2026 年度版の技術報告書では、あらゆるハザードに起因するサイト全体のリスクを評価するために適用可能な分析フレームワークおよび方法論の内容を充実させる。

2. レベル 2 PRA リスク上の重要性に関わる指標について

NRRC は、MUPRA でのスクリーニングプロセスでの使用という実施目的に鑑みて、スクリーニング基準とするリスク上の重要性に関する指標を再検討する。

TACメンバーの引続きのご助力に感謝申し上げます。

敬具

A handwritten signature in blue ink, appearing to read "George Apostolakis", written on a light blue background.

ジョージ・アポストラキス